

株式の概況 (2017年9月30日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アルプス電気(株)	16,526	46.8
ビ・ビ・エフフォーティティ・ロ・プラスストックファンド*	2,995	8.5
TDK(株)	2,804	7.9
アルパイン(株)	792	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	742	2.1

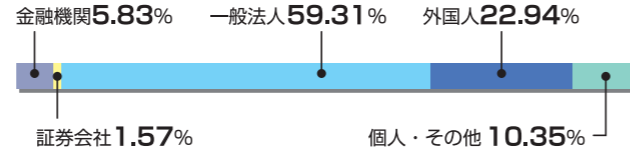
※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2017年9月30日 現在)

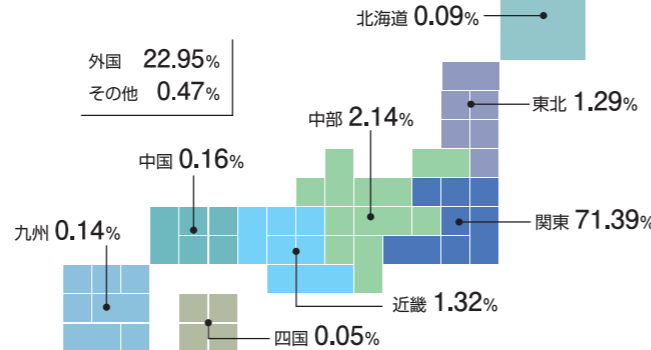
社名	株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)	
英文社名	ALPS LOGISTICS CO., LTD.	
本社所在地	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756	
電話番号	045-531-4133 (代表)	
設立	1964年7月2日	
資本金	23億 4,904万円	
社員数	(連結) 5,513名	(単独) 860名
運行車輛数	(連結) 3,224台	(単独) 631台
倉庫面積	(連結) 775,836m ²	(単独) 259,120m ²

物流個性 ●ホームページURL <http://www.alps-logistics.jp/>
●IR情報URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
お客様のための、最適物流を。

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第2部
公告方法	電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。
・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

株式会社アルプス物流

2017年9月 第2四半期

IRレポート

2017年4月1日から2017年9月30日まで

IR REPORT

株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この上半期の経済状況は、緩やかながらも景気回復が継続し、主要顧客の属する電子部品業界も、自動車やスマートフォン向けの需要を中心に好調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループでは、引き続き、国内外で拠点・ネットワークの新設・拡充や新規・深耕拡販を進めるとともに、人手不足への対応を含めた生産性の向上に取り組んでまいりました。

上期の連結業績は、順調に売上を拡大する

ことができました。一方、営業利益は、将来の成長に向けた拠点・ビジネスの立上げ費用が影響し、若干の減益となりました。

下期につきましても、中期計画で掲げた連結売上高1千億円の1年前倒しでの達成を目指すとともに、今年度の事業方針である「STEP UP 1000: Next Actions」のもと、次の飛躍に向けて物流インフラや人財など事業基盤の強化を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

白居 賢

当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

2018年3月期 第2四半期累計(実績)	
売上高	51,738 (8.4%) ↑
営業利益	2,314 (△3.2%) ↓
経常利益	2,274 (△2.7%) ↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,254 (△5.7%) ↓

2018年3月期(予想)	
売上高	100,000 (0.8%) ↑
営業利益	5,200 (2.3%) ↑
経常利益	5,080 (△6.0%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	2,860 (△5.5%) ↓

連結業績の概況 (2017年4月1日～2017年9月30日)



当社グループでは、中期事業方針のもと、グローバル・ネットワークの拡充や、新市場の顧客開拓と受託エリア拡大に向けた営業活動を進め、取扱貨物量を拡大しました。また、各事業の生産性向上にも取り組んでまいりました。ネットワークにつきましては、国内では船橋倉庫(千葉県)を開設。海外でも中国・重慶支店の開設、ベトナムでの現地法人の設立、北米では米国・ダラス事務所やメキシコで第2の法人を設立するなど、各地域で拡充を図りました。当第2四半期の連結売上高は、前期比8.4%増収の517億円に、連結営業利益は、3.2%減の23.1億円となりました。

▼電子部品物流セグメント

電子部品の荷動きが堅調に推移する環境のもと、グローバル・ネットワークの拡充や、国内外一体となった営業活動を進め、日本、中国、東アジア、アセアン、北米、欧州の全地域で売上を拡大し、前年同期比で11%の増収となりました。

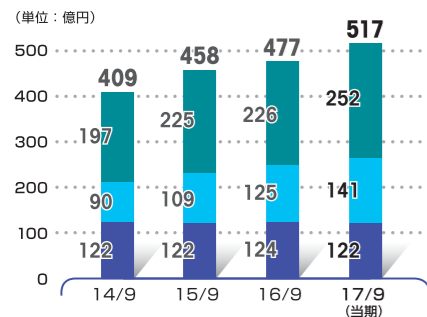
▼商品販売セグメント

顧客の車載関連の生産好調が継続し、電子デバイス、成形材、包装資材の販売がそれぞれ拡大し、12%の増収となりました。

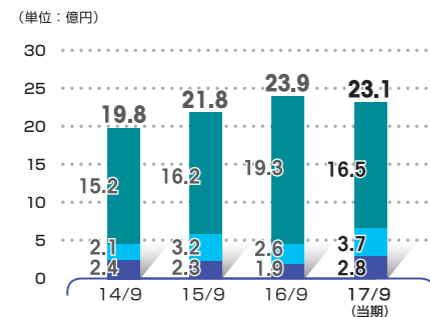
▼消費物流セグメント

消費物流の(株)流通サービスでは、強みの分野への事業集中を進める中で取引の一部見直しもあり、1%の減収となりました。

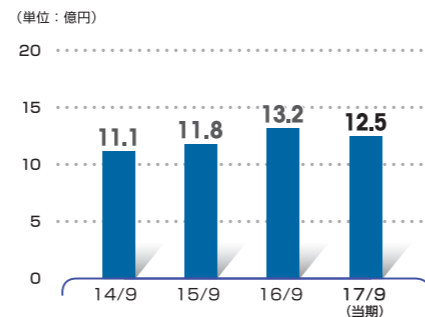
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



トピックス



ベトナムとメキシコで新現法を設立

当社は、ベトナム及びメキシコで新たに現地法人を設立し、稼働を開始しました。

ベトナムでは高度な取扱技術を要する電子部品物流の需要増に 대응するため、5月、ハノイに現地法人を設立しました。輸出入及び保管から事業を開始し、10月にはホーチミンにも拠点を開設しました。



ベトナム法人

メキシコでは自動車産業の拡大を受け、保税地区の会社に加え、中央高原地区に同国2社目となる国内貨物の取り扱いを行う新会社を10月に設立しました。国内トラック輸送に加え、同地区・ケレタロに約3千㎡の倉庫を開設し、保管業務も行ってまいります。



ケレタロ倉庫

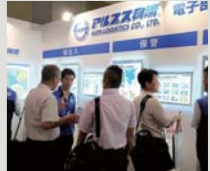
今後も更なるグローバルネットワーク強化を進め、サービスの向上を図ってまいります。



各展示会へ出展し海外サービスをPR

当社は、今年度も物流専門の展示会に出展し、当社の海外サービスのPRを行いました。

5月に「アジア・シームレス物流フォーラム」、8月に「ロジスティクスソリューションフェア」に出展。年々ニーズが高まっている中国・アセアンでの保税物流、アセアンのクロスボーダー輸送などを紹介するとともに、セミナー講演を実施し、連日多くの方にご来場いただきました。



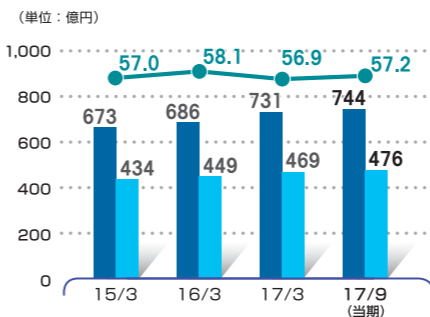
ロジスティクスソリューションフェア

また5月の「通販ソリューション展[春]」では、通販事業者、メーカーや小売店の通販担当者の方々向けに、当社グループで消費物流を担う(株)流通サービスと連携した「中国向け越境EC保税サービス」をご紹介しました。ビジネスの拡大へつなげてまいります。

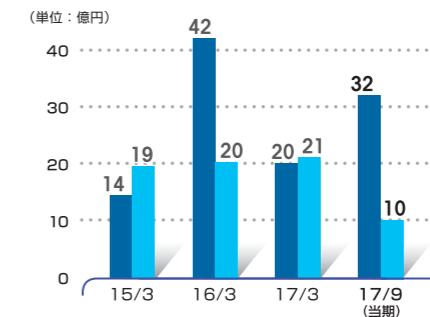


通販ソリューション展

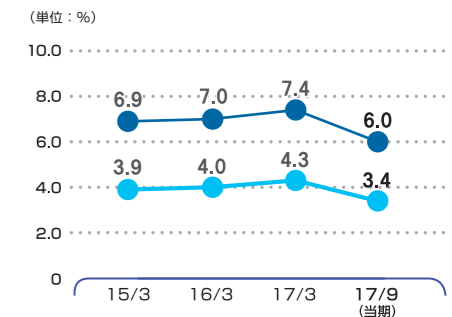
財政状況



設備投資・減価償却費



ROE・ROA



※17/9期は年率換算して算出しています。